

「好奇心」

いつも何か新しいことを経験したい。そういう好奇心を持つと毎日が楽しくなる。無謀だと人から言われても、自分なりのやり方で試験的にやってみる。考えてばかりいないで、恐れず挑戦する。そういう能動的な態度で行動しているうちに新しい発想が湧いてくる。

(いのちの言葉 日野原 重明より)

鮮やかな白やピンク、濃い紅とフリルのような花びらを持つ小さな花が枝先に沢山集り散っては咲きを次から次へと繰り返しながら、初夏から秋まで約100日間程続けることから百日紅(ひゃくじつこう)と名前が付いたそうです。その姿は華やかでもあり、遅くもあります。

子どもたちは、雨上がりに水たまりを見つけ、嬉しそうにジャンプをして水しぶきを飛ばしたり、落ちている葉や花びらを夢中で集めたり、また乳児期であってもじっと人や物を見つめ手を伸ばし周囲にあるものや事象に興味を持っています。言葉で伝えられるようになると「なあに」「どうして」とたくさんの質問をするようになります。小さな発見や不思議さ、驚きに心が動き、触れたり確かめたりする実体験を積み重ねることでさらに好奇心は育まれていきます。時には失敗するかもしれないという怖さもあるかもしれませんが、1歩踏み出すことで視野が広がり、あきらめない心の強さや自信へと繋がって行くのだと思います。私たちの周囲にはまだまだたくさんの面白い! が溢れています。楽しい、もっと知りたい、試したいの気持ちを大切に行動していくとより日々の生活や心が豊かになるのではないのでしょうか。

園生活においても、ワクワクするような活動や自然体験を行うことで、充実感と満足感を味わい、想像力や発想力を伸ばしていきたいと考えております。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

2019年度 年主題

【ことばに満たされて～ひびきあう～】

2019年度 年主題聖句

【その人は流れのほとりに植えられた木。】

詩編 1編 3節

【 8月聖句 】

あなたがたの救われたのは恵みによるのです。

エフェソ信徒への手紙 2章 5

節

【 8月主題 】

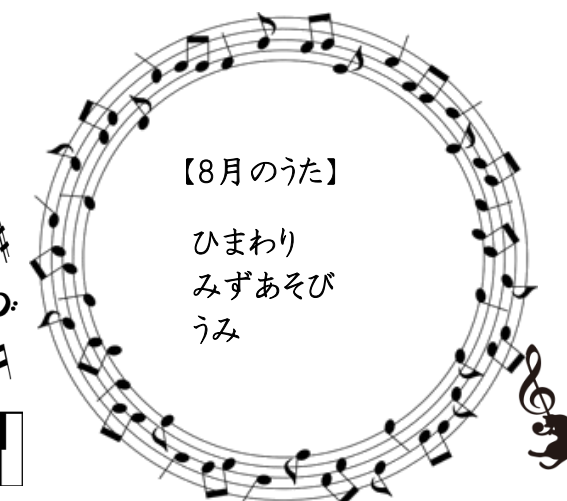
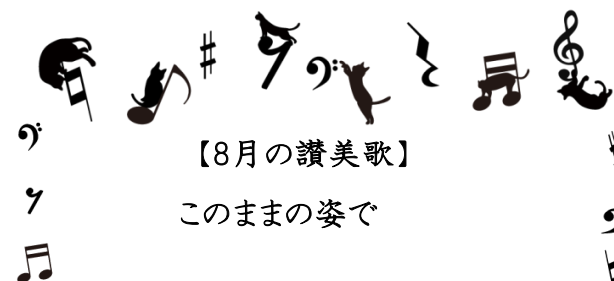
「ゆったりと」

0歳

- ・神さまやまわりの人に愛されていると感じる
- ・夏の生活の中で健康に過ごす
- ・家族や保育者とゆったりと過ごす
- ・自分の思いをことばにしてもらい満足する

1、2歳

- ・神さまやまわりの人に愛されていると感じる
- ・夏の生活の中でゆったりと過ごす
- ・自分の思いをことばにもらって安心する
- ・好きな遊びをじっくり楽しむ



8月の予定表

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 山の日
12 振替休日	13	14	15 身体測定	16	17	18
19	20 避難訓練	21	22	23 誕生日会	24	25
26	27	28	29	30 クレイシュ通信	31	
備考						

【 お願いとお知らせ 】

- ・汗をかいた際はこまめに着替えますので、多めに衣服をお持ちください。
- ・持ち物の名前が薄くなってしまっている物もありますので、確認をお願いいたします。

0歳児 mer(海) 組の子どもたちの姿～



ようやく梅雨が明け、眩しい太陽の陽射しと共に夏がやって来ました。

異年齢の友だちとのかかわりでは、友だちが顔を横に振ると真似して動かし一緒に楽しくなって笑い合ったり、手を伸ばし、握手するように手を取り合う姿が。友だちの存在を意識しながら、楽しそう、真似してみようという気持ちが芽生えているようです。また、歌や手遊びへの興味も高まっています。七夕まつりでのきらきら星では、一緒に両手を挙げてきらきら—と手を振ったり、「魚が跳ねて」の手遊びでは、保育者の手の動きを目で追いつながり、パクパクと近付いていくと、声を上げて喜んでいきます。リズムに乗って手を打ったり、身体を揺らしたりと、一緒にやろうとしながらどんどんできることが増えていることが分かり、新しい歌や手遊びを一緒に楽しみながら覚えていけることが今から待ち遠しいです。

プールが始まり、暑い日には水遊びや沐浴で水に触れ、冷たさや感触を味わっています。顔に水がかかっても平気な子、プールの中で座ることを嫌がる子など様々ですが、水鉄砲と一緒に水を飛ばしたり、ジョウロで身体に優しくかけたり、楽しく遊ぶ姿を示し、自ら触ってみたいくなる雰囲気を作る中で、それぞれの遊びを楽しみながら水に慣れていっています。日々たくさんのことを学び、吸収している中で、楽しい！知りたい！と思えるかかわりをしながら、身体と心の発達を促していきたいと思っています。



1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

蝉の音が聞こえ始め季節はすっかり夏になりました。

一人ひとりの願い事を込めた短冊に「叶いますように！」とお祈りをしながら七夕会を開きました。「たたのはさ～らたら～♪」とたなばたの歌をはっきりとではないですが口ずさみ体を揺らしリズムをとりながら歌いました。天の川をイメージしたスズランテープに折鶴や吹き流し、網飾りなどの飾り一つ一つの意味を学びました。どの飾りにしようか手に取っては戻して、手に取るのを繰り返して「これ！」と声に出し気に入ったものを選び装飾しました。貼り終わると楽しかったからか「もう一回！」と言って貼ることが出来ると満足し嬉しそうなお顔を見せていました。少しずつ自分の意思を言葉で表せるようになっていきます。また、友だちがやっている時にはしっかりと椅子へ座り待つことが出来るようになり、順番が来て名前を呼ばれると「はい！」と待っていましたと言わんばかりの元気な声で返事をしていました。

7月になり二名の新しい友達が増え最初は園生活に戸惑うこともあり泣いてしまうこともありましたが、友だちの名前を覚え呼び合ってみたり手を繋いで歩いていたり向い合わせに座ると目があい笑いあう姿が見られました。先月は天候に恵まれず夏ならではの遊びをする機会が少なかったため、プール遊びや泡遊びなど取り組んでいきたいです。

2歳児 ciel(空) 組の子どもたちの姿～

梅雨も明け、夏の太陽が眩しさを増し暑い日が続いています。

七夕会では由来、折鶴や吹き流し、紙衣など一つひとつの飾りについて知る機会を持ったり、たなばたさまやきらきら星を歌ったり、星探しゲームなどを行いました。短冊には、子どもたちの微笑ましい願いやお子様を思う心温まる願いがたくさん詰まっており、願い事が叶いますようにと願いを込めて、飾り付けを行いました。

感触をおもいきり楽しもう！と野菜に触れる体験もしました。ふさふさとした柔らかい人参の葉に「気持ちいい」と頬に当ててみたり、大根の大きな葉を少しちぎって匂いを嗅いだり、「大きいね」「小さいね」「ギザギザ」と大きさや形の違いの気付きを言葉で伝える様子も見られました。また、葉を切り落とすと今度は断面を不思議そうに見つめ指で触れていました。たくさん観察した後は、葉を筆に見立て大きな紙に絵を描きました。たっぷり絵の具をつけ真剣な表情で身体全体を左右に動かしたり、時には葉を大きく振り絵の具の飛散の様子に声を上げ笑い、逆に向け野菜スタンプのようにペタペタと押しついたり自由にその子なりの視点や発想で工夫していました。夢中になり手や足、顔まで絵の具が付いても「楽しい」と飽きることなく遊びました。身近なものでこんなことが出来るんだ！という面白さや発想力、見慣れたもので作ってみようとする創造力などを育めるような活動を取り入れていきたいと思っています。

